



教育後援会報

京都府立農芸高等学校

第38号

令和3年3月

発行 京都府立農芸高等学校 教育後援会

編集 同事務局



川邊 哲
教育後援会長

(一) コロナに負けるな！

今年の冬は、例年ない大雪を経験することとなりましたが、漸く春を感じる頃となり、教育後援会員の皆様には、御社健にて御活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年から今年にかけては、世界中が新型コロナウイルス感染拡大への対応に追われ、今まで経験したことがない事象が数多く起りました。年度当初からの休校、三密を避けた生活の強要、学校行事の中止、マスクや消毒などの感染防止の徹底など、数え上げれば切れがありません。そのような中でも、生徒の皆さんは注意事項を厳守し、自らが取るべき行動をしっかりと実践し、学校生活・寮生活を乗り越えてくれました。農芸高校を応援する関係者として、その努力に敬意と感謝を表すとともに、大変誇らしく感じています。

(二) 社会で必要とされる力とは

農芸高校の学習の中に、「課題研究」という

科目がありますが、農業科の特徴を最もよく表していて、生徒自身が日頃の学習の中から課題を見つけ、持てる知識や技術を駆使しな

**期待される若者が育つ
社会が求める農業教育**

がら、自らが解決する手法や方法を導き出していこうとする学習です。その中で、「自らの実際に経験すること」が、「知恵」となっていますといわれています。

これらの「問題解決型学習」から生まれる資質・能力は、これから社会では非常に重要とされ、個別化、グローバル化が進む中で、順応性や対応能力などの基礎となるといわれています。そのような意味でも、昭和二十三年の新高校制度発足以来、農業科で取り組まれてきたプロジェクト学習は、現在にこそ求められている学習形態であると思われます。

今、すべての高校で行われている「総合的な探究の時間」は、まさに現在の高校生に身に付けて欲しい能力を養うために創設されたものであり、地域や身の回りの課題を見つけ、課題解決に向けた研究を実施し、成果をまとめ、発表するという、普通科をはじめ全ての学科で実践されることを想定して作られたものです。

このことからも、農業科のプロジェクト学習や課題研究は、高校生に最も必要とされる力をつける学習であり、社会への即戦力を育む取り組みであると言えます。

生徒の皆さんは、このことに自信と誇りを持ち、毎日の勉学に勤しんで欲しいと思います。

(三) 教育後援会にご理解を

農芸高校教育後援会は、生徒の皆さんのが在

会費及び寄附金についてのお願い

本会は、在校生・在職教職員の会費と、卒業生・卒業生保護者の会費、一般会員の寄附金（1口1,000円）で運営されています。出費多端の折、誠に恐縮に存じますが、御理解の上、御支援、御協力いただきますようお願い申し上げます。

- 一般会員寄附金 1口 1,000円
- 在校生・在職教職員会費 年 500円
- 卒業生・卒業生保護者会費 5,000円・3,000円（卒業時に納入）

* 京都府立農芸高等学校教育後援会振替口座番号（京都 01080-1-9234）
なお本会への寄附とは別に、下記のような農芸高校に対する寄附事業もあります。

「京都府母校応援ふるさと事業」「ふるさと納税制度」を活用した事業で、各校が支援を必要とする事業を掲げ、寄附を募っています。寄附額に応じて所得税・住民税が控除されます。

学中に能力を高める活動をする際に必要な支援をする組織で、学校行事、農業クラブ、部活動などを支援しています。活動が活発になるとともに、会の主旨及び活動にご理解いただき、引き続き一層のご支援をお願いいたします。また、在校生の保護者の皆様には、他校にはない本会の支援制度を活用いただき、お子様の高校生活が一層充実したものになるよう励ましをお願いします。

結びにあたり、卒業生の皆さん前途を祝すとともに、合わせて卒業生並びに在校生の皆さんの益々の活躍を期待しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言により、本年度は6月から授業を再開しました。休校期間だった4月、5月は、授業再開の要請による3月上旬から春休みにかけての一斉休業、緊急事態宣言に伴う4月中旬から5月末までの臨時休業、そして学校再開は6月となりました。再開後は、感染症拡大防止を趣旨とする新しい行動様式・生活様式での学校・寮での生活と併行して通常の教育活動を進めることがなりました。そして、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、日本学

教育後援会の会員の皆様には、ますます御健勝にお過ごしのこととお喜び申しあげます。日頃は、本校教育の推進に温かい御支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、今年度入学生から本校は下図の学科改編を行いました。

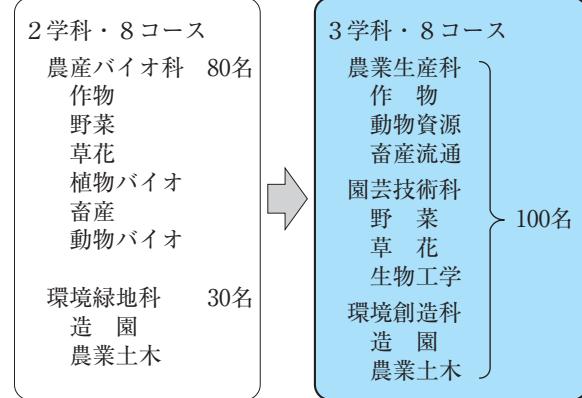
従いまして、今年度は、農産バイオ科、環境緑地科の学びをさらに進化・発展させたうえで、新しい学科・体制の歩みを進める年です。教職員、生徒達も、自分の未来への挑戦をする、そして学校としてもさらにワンランクアップしたい、そのような願いを込めて今年度の学びのテーマを「新しい農芸の未来への挑戦・目指せ Next Stage!!」と定めました。

しかし、ご存じのよう、今年度は新型コロナウイルス感染拡大に係わり、国の一斉休業、緊急事態宣言に伴う4月中旬から5月末までの臨時休業、そして学校再開は6月となりました。再開後は、感染症拡大防止を趣旨とする新しい行動様式・生活様式での学校・寮での生

新しい農芸の未来への挑戦・目指せ

Next Stage!!

校長 長谷川 清隆



農業を職業に選択する時代を目指して、例年ながら、こなしきれないほどのイベント参加依頼があるのですが、それらも全て中止、生徒たちの日頃の学習成果を披露する機会は皆無となりました。そして、開校以来続けてきた農芸高校最大のイベント農芸祭も、例に漏れず中止の決定を行いました。

授業再開後は新しい生活様式となり、例年なら、こなしきれないほどのイベント参加依頼があるのですが、それらも全て中止、生徒たちの日頃の学習成果を披露する機会は皆無となりました。そして、開校以来続けてきた農芸高校最大のイベント農芸祭も、例に漏れず中止の決定を行いました。

しかし、学習成果披露の場を何とか確保できないだろうかと検討し、入場者が特定できる保護者のみを対象にした学校公開を「農芸マルシェ」と命名。農場生産物の販売実習、作庭や施工実習等の授業公開を実施することになりました。例年なら模擬店で農芸祭を盛り上げていたP.T.A.、船南同窓会、そして教育後援会の皆様には、生徒たちだけではなく、受けない受付や駐車場誘導をお世話になることを快諾していただきました。

入場予定者の把握、検温カード等の配付など例年には準備作業を行い、迎えた11月21日(土)、「We can do it!」どんな困難でも乗り越えろ!～命をつなぐ、感謝とともに～のスローガンのもと、農芸マルシェを実施しました。農芸祭の半分の時間、約500名の入場者でしたが、自分たちが作った生産物を自信を持つて販売する姿、真剣な眼差しでの作庭や施工実習中の姿、保護者に声を掛けられ照れ笑いを浮かべる姿など、生徒たちは日頃の学校生活では見られない表情を見せてくれました。

来年度は、第39回農芸祭が実施できることを祈り、農芸マルシェの報告とさせていただきます。

(農場部長 岸根 一宏)



技能五輪全国大会

次世代のものづくりを担う青年技能者が「技」の日本一を競い合う「第58回技能五輪全国大会」が愛知県において、令和2年11月13～15日に開催されました。

今大会は、コロナ禍において無観客の中、全国から様々な職種の若手技術者や学生らが集まり、種目ごとに日本一を競い合いました。

この大会の造園職種に造園部3年生の井澤悠午と2年生の宮尾永表の2名がペアを組み、京都府能力開発協会の推薦を受け、京都府代表の選手として出場しました。

井澤、宮尾は共に技能五輪全国大会には初めての出場となりました。

競技は二人一組で行われ、2日間10時間半の制限時間内に出題された課題を作成していきます。今回の課題は5×3mの区画に、チャート石の石積み花壇・小舗石敷き、ロックガーデン、ベンチ、スクリーンなどの作業を寸法通りに見栄えよく作ります。

2人は3年連続の入賞を目指して、放課後、土日を利用して、3か月間の練習に取り組んできました。井澤は昨年度行われた、若年者ものづくり競技大会で銀賞を獲得するなど技量と精神力が身についてきました。一方、宮尾は経験不足を練習量で補い、丁寧な作業を心がけ、大会までの練習を取り組みました。

迎えた本番、感染防止対策が徹底されるなか無観客で行われました、1日目は晴天の中、順調に作業を進められました。1日目の規定以上のことろまで作業を進めることができました。

2日目も晴天でした。1日目で作業が先に進めたことで、余裕を持って、作業を行えました。標準時間の15分前に作業を終え、道具の整理、残材量の処理、作業場所掃除まで行うことができました。途中不安なことも臨機応変に対応し、良い仕上がりとなりました。今大会は、出場者こそ少なかつたですが、これまでの大会の入賞者や複数回の出場経験のある出場者が多く、入賞は困難な大会と言わっていました。

翌日の閉会式はオンライン配信となりました。競技の結果は敢闘賞を受賞し、3大会連続の入賞となりました。ペアでの競技は入賞者の大半を社会人の職人が占めるなか、全国ベスト8となりました。また、学生の中では3位という好成績でした。

今年は学年の違うペアで、最初はうまくいかないこともあります。ペア戦の難しさを改めて分かった大会でした。ペアでの競技は1+1=3にも4にもなることや、時には-1や-2になることがよく分かりました。

今大会も多くの方々のご支援により、出場することができ入賞という結果を得ることができました。選手二人にはこの経験での充実感とともに、大会を通して出会えた業界の方々、先輩、仲間との絆が大きな収穫となつた大会でした。

多方面の方々にご指導やご援助をいただき大変感謝しております。今後も連続で上位入賞ができるよう努力を惜しまず頑張つていきたいと思います。



酪農の夢コンクール



本校畜産部では、全国農業協同組合連合会（以下全農）が主催する全農学生「酪農の夢」コンクールに、第10回大会（平成28年度）から応募をしてきました。「酪農の夢」コンクールは、将来日本の「酪農」を担う畜産・酪農・農学等を学ぶ学生が、「酪農の夢」をテーマに作文作品を応募するコンクールのことです。応募初年度の第10回には佳作入賞。第12回では優秀賞。第13回では佳作入賞に加え、優秀賞という結果があり、いずれは最優秀賞を受賞したいと意気込み、これまで様々な教育活動を開催してきました。

今回、第14回全農学生「酪農の夢」コンクールにおいて、畜産部長である宅間加鈴（農産バイオ科3年）の「Take a chance（想い）繋ぐ私の夢」が念願の最優秀賞に輝きました。また、副部長の田中陽満莉（農産バイオ科3年）の「じいちやん（想い）繋ぐ私の夢」が念願の最優秀賞に輝きました。また、まだ見ぬ明日へ「酪農の新しい未来」が優秀賞を受賞し、全国から作品応募があつた中で、本校生徒が1位・2位という最高の結果でW受賞してくれました。このコンクールには高校生だけではなく、大学生も応募をしており、その中でもこのような結果が得られたことに大変感心しております。作品に関しましては、全農のホームページやYouTube上にデータがありますので、一度ご覧いただけすると幸いです。

今年度、畜産部には8名の3年生が在籍しています。振り返ってみると、入部当初から数え切れないほどの思い出があつたことでしょう。「365日の徹底した飼養管理」をテーマに、休日も関係なく牛舎に通つた8名の3年生たちは、立派な畜産人になつてくれました。今回、受賞したのは2名の生徒ですが、8名全員で掴み取った結果だと感じます。進路状況においても、畜産関係の大学・専門学校に進学する者が6名、畜産関係に就職する者が1名おり、大変優秀な進路実績を残してくれました。明日の農畜産業を支えていくよう、今後も成長してほしいと切に願っています。

最後に。畜産部・畜産系コースは今回の結果に満足することなく、今後も発展し続けて参りたいと思いますので、御支援御協力の程よろしくお願いいたします。

（農産バイオ科 三宅 直人）

部活動 および

農業クラブ 専門委員会

硬式野球部

本校野球部は夏に行われる選手権大会に向けて1勝を目標に日々厳しい練習に取り組んでいます。今年度の秋季大会では敗れはしたものの単独チームで出場する事ができ確かな一步を踏み出したと感じています。今までの連合チームとは違い自分たちがチームの中心を担い緊張しながらも精一杯声を出し奮闘する姿は選手たちの「強さ」を感じることでのきる瞬間でした。

波高等学校バドミントン大会では男子1年シングルスで1年生の黒川景瑚くんが優勝、女子1年シングルスで織田琴羽さんが準優勝となりました。今年度は日頃の成果が大会で發揮されたと感じています。来年度はさらなる飛躍につながるように、部員が日々、技を競いながら活動しています。



硬式テニス部は、現在3年生3名、2年生1名、1年生3名の計7名（男子）で活動しています。今年度は、各種大会が中止や規模縮小されるなど、生徒にとってもモチベーションを維持するのが難しい年となりました。合宿や練習試合も実施できない中で、3年生が自分達の進路の取り組みと並行しながら、後輩のために練習を盛り上げてくれました。土日にも外部練習などを実施しています。京都市内の生徒と互角に戦える実力が身に付いています。また、2面あるテニスコートの改修も4年間かけて生徒達自らで行い、ようやく練習ができるようになりました。この成果には生徒共々喜んでいます。次第です。チームとしてユニフォームのデザインも新調し、心新たに練習に打ち込んでいきたいと思います。今

後とも温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

剑道部の活動は、5月の滋賀県高島高校主催の錬成会、8月の本校主催の夏季合同合宿を中心とした各種行事、および公式戦である5月開催の総体や6月開催のインターハイ予選がすべて中止されるという異例続きの1年間でした。

そこで、3年生の最後の試合が中止になつた救済措置としての代替え大会が9月に実施され、その大会には出場することができ、最後を締めくくることができました。大半が高校で剣道を始めた初心者チームでしたが、中には有段者として卒業していく生徒もあり、部活動としては、有意義な活動ができたと思っています。今後は、彼らが剣道で学んだ精神を生かし、社会で活躍してくれることを願っています。

合唱部は現在2年生2名で活動しています。毎週金曜日には亀岡高校で合同練習を行つており、現在は3月に行う予定の亀岡高校・農芸高校合同の定期演奏会が実施できることを信じて、「栄冠は君に輝く」や「オペラ座の怪人」など歌いごたえのある曲の練習に励んでいるところです。

今年度はコロナ禍により思うような活動ができない中ではあります。ですが、マスクを着け、人と人との距離をとるなど感染防止に最大限気を配り、不自由ながらも頑張つて活動を行っています。

今後ともバドミントン部の活動にご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

波高等学校バドミントン大会では男子1年シングルスで1年生の黒川景瑚くんが優勝、女子1年シングルスで織田琴羽さんが準優勝となりました。今年度は日頃の成果が大会で発揮されたと感じています。来年度はさらなる飛躍につながるように、部員が日々、技を競いながら活動しています。



卓球部

後とも温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



今年度の卓球部は1年生が2名所属しています。2名とも中学校では部活動経験者です。基本技術の習得を目指し、練習に打ち込んでいます。「1セット、1点でも多く取る」という気持ちで、夏と秋の公式戦に出場しました。活動日は、月曜日から木曜日までです。部活動だけでなく学習活動にも力を入れ、お茶の作法とお学業との両立を目指しています。今後も応援よろしくお願いします。

茶道部

また、休校措置の関係で新入生の勧誘が思つたようにできなかつた。今後とも、彼生徒が入部してきました。今後とも、彼らが剣道をやついてよかつたと思えるような活動をしていきたいと思いますので、引き続き御支援を賜りますよう、お願いいたします。

培養を依頼され、現在は成長点培養から得られたカルスの再分化を進めています。今後は、苗を南丹市に提供することも進めてきました。南丹市からサクラの工学の基礎であるPCRの試験についての調査を行つています。また、遺伝子の操作による植物の増殖や、野外の動植物の調査を行つています。

剣道部

剑道部の活動は、5月の滋賀県高島高校主催の錬成会、8月の本校主催の夏季合同合宿を中心とした各種行事、および公式戦である5月開催の総体や6月開催のインターハイ予選がすべて中止されるという異例続きの1年間でした。

現在3年生2名、1年生8名の計10名で、裏千家・村上妙子先生の御指導のもと、毎週水曜日の放課後に活動しています。お茶の作法とおもてなしの心を学ぶため、集中して稽古に取り組めるよう常に努力しています。今後とも温かい御支援をお願い申し上げます。



草花部

草花部では多肉植物の栽培を中心に行つて、草花コースの授業では学べない様々な植物を栽培する

とともに、その活用方法について広く学んでいます。今年度は3年生4名、2年生2名、1年生2名で活動してきました。しかし、草花コースの授業では学べない様々な植物を栽培する草花を通した交流の機会が少ない一年となりました。



植物バイオ部

3年生2名、1年生3名が所属し、無菌操作による植物の増殖や、野外の動植物の調査を行つています。また、遺伝子の操作による植物の増殖や、野外の動植物の調査を行つています。



合唱部

合唱部は現在2年生2名で活動しています。毎週金曜日には亀岡高校で合同練習を行つており、現在は3月に行う予定の亀岡高校・農芸高校合同の定期演奏会が実施できることを信じて、「栄冠は君に輝く」や「オペラ座の怪人」など歌いごたえのある曲の練習に励んでいるところです。

今後はさらに草花の楽しさを発信していく活動を行つて、性化していきたいと思います。



今後はさらに草花の楽しさを発信していく活動を行つて、性化していきたいと思います。



畜産部

『365日欠かすことのない飼養管理』をテーマに土日祝日問わず、活動を行つてきました。今年度から畜産部は、より専門的な活動を行うため、乳牛部門・和牛部門を新設し活動を開始しました。両部門ともに家畜の心の声に気づき、持てる技術を精一杯活用し、男子10名、女子8名で活動をしています。

今年度、5年に1度の酪農の祭典『全日本ホルスタイン共進会』が開催される予定でした。しかし、コロナ禍で大会は中止。3年生は高校生最後となるプロと競える場がなくなってしまった。目標を失い生徒もショックを隠しきれない様子でしたが気持ちを切り替え来年度以降のために後輩への指導に尽力してくれました。1・2年生とともに先輩からの意思を受け継ぎ、高校生活中に大きな成長ができることを期待しています。



野菜部では、「おいしい野菜づくり」をテーマに活動しています。中でも、バジル栽培に力を入れており、校内販売や

造園部

畜産部は、皆さまからの多大なるご支援、ご指導のもと、現在に至つております。これからも更なる飛躍に向けて、生命を扱う部活動として、日々の飼養管理から技術習得・向上を目指して活動していくります。

今後も活躍できるよう精一杯取り組んでまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



西田浩二様の御協力のもと、今年度も引き続きバジルソースの製造を依頼し、今年は校内での製造を目標に指導にあたつていただきました。

生徒達は、農芸高校で製造できることに喜びを感じ、熱心に製造を体験していました。

7月には亀岡市にある京懐石「雅」の西田浩二様の御協力のもと、今年度も引き続きバジルソースの製造を依頼し、今年は校内での製造を目標に指導にあたつていただきました。

里山の休日京都烟河においてバジルの苗販売を行い多くの方々に買つていただきている経緯があります。また、六次産業化として食品製造に取り組んでいます。

今年度は、コロナウイルス感染拡大防護により6月からの授業再開となり、部活動もうまくスタートができませんでした。しかし、部活動顧問がバジルの栽培を行い、6月の授業再開と同時に部活動ができる環境を整えてきました。

環境部

畜産部は、皆さまからの多大なるご支援、ご指導のもと、現在に至つております。これからも更なる飛躍に向けて、生命を扱う部活動として、日々の飼養管理から技術習得・向上を目指して活動していくります。



創作灯籠（基礎部）の据付け作業風景

造園部では、造園技能検定の取得を目指とし、校内に植えられた樹木の剪定作業や実習場の管理、庭園施設の改修、補修、校内美化活動等を通じて日々、技術習得に取り組んでいます。

本年度はコロナ禍において野外の活動にも大きな影響を受けました。例年と同じようなやり方、活動時間を確保できなかつても、いつも通りの生活を目指して新しい行動スタイルを取り入れました。



情報処理部

造園部では、造園技能検定の取得を目指とし、校内に植えられた樹木の剪定作業や実習場の管理、庭園施設の改修、補修、校内美化活動等を通じて日々、技術習得に取り組んでいます。

野菜部では、「おいしい野菜づくり」をテーマに活動しています。中でも、バジル栽培に力を入れており、校内販売や

昨年度と同様、校庭内の樹木の剪定を中心に行い、校内の環境整備に従事しました。校外では近隣寺院の庭園の管理を任せいただき、技術の向上とともに地域のボランティア活動にも引き続き携わることができました。校門前に「5基」の創作灯籠、校長室前に春日燈籠を「2基」と灯上げ石や動線の配石をしました。さらには雪見灯籠を「2基」、中庭付近に「9基」の創作灯籠を設置しました。



環境部では今年度も農業クラブ平板測量競技会に向けての活動、ブリッジコンテストへの橋梁模型出品、校内環境の整備、さらには専門的な資格取得に取り組みました。

8月30日に平板測量競技会の京都府大会が農芸高校で実施されました。本校からは1チーム出場し、大会まで必死に練習・研究を重ねた結果、最優秀賞を獲得することができました。競技会後はブリッジコンテストに向け、橋梁模型の製作に取り組みました。結果は振るわなかったですが、他校の作品や関連企業の技術を見ることができ、来年度に向けて刺激を受けました。

資格取得については、3級鉄筋技能検定の合格を目指し、内環境整備、資格取得の取り組みを通り組みました。競技会やコンテスト、校内環境整備、資格取得の取り組みを通して、この1年で専門性を高めることができました。

8月30日に平板測量競技会の京都府大会が農芸高校で実施されました。本校からは1チーム出場し、大会まで必死に練習・研究を重ねた結果、最優秀賞を獲得することができました。競技会後はブリッジコンテストに向け、橋梁模型の製作に取り組みました。結果は振るわなかったですが、他校の作品や関連企業の技術を見ることができ、来年度に向けて刺激を受けました。

資格取得については、3級鉄筋技能検定の合格を目指し、内環境整備、資格取得の取り組みを通り組みました。競技会やコンテスト、校内環境整備、資格取得の取り組みを通して、この1年で専門性を高めることができました。

8月30日に平板測量競技会の京都府大会が農芸高校で実施されました。本校からは1チーム出場し、大会まで必死に練習・研究を重ねた結果、最優秀賞を獲得することができました。競技会後はブリッジコンテストに向け、橋梁模型の製作に取り組みました。結果は振るわなかったですが、他校の作品や関連企業の技術を見ることができ、来年度に向けて刺激を受けました。

資格取得については、3級鉄筋技能検定の合格を目指し、内環境整備、資格取得の取り組みを通り組みました。競技会やコンテスト、校内環境整備、資格取得の取り組みを通して、この1年で専門性を高めることができました。

教育後援会 事業及び会計報告

平成31年度(令和元年度)
教育後援会
事業報告

令和元年度
会計決算

月	日	事業名	内 容
4	9	第37回入学式	役員出席
4	27	役員会	総会に向けての協議
6	上旬	代議員会	事業・決算・予算の審議と承認
		海外農業研修準備	広報・募集開始
		生徒募集広報活動支援	広報用ポスター作成・府下中学校配布
		第1回研修事業	草花寄せ植え講座／長谷川校長講話
9	27	役員会	農芸祭について 他
		四者会議	農芸祭について 他
11	8	海外農業研修説明会	海外農業研修参加者説明会
11	23	第37回農芸祭	模擬店の開催・椎茸ほだ木販売
11	下旬	終身会費納入依頼	11・12月分で徴収
12	23～26	海外農業研修助成	京都府農業学科高校生海外農業研修（台湾）
2	28	第35回卒業式	役員出席・椎茸ほだ木販売
		選考会議	次年度役員案の作成・推挙について
		教育後援会報発行	第37号発行
		第2回研修事業	椎茸ほだ木植菌 他

収入総額 1,731,126円 - 支出総額 1,696,167円 = 差引残額 34,959円 (次年度へ繰越)

収入の部

単位(円)

科目	本年度予算額	決算額	比較増減	備 考
繰 越 金	339,087	339,087	0	前年度繰越額
会 費	836,000	836,500	500	生徒通常 234名 117,000円 職員終身 12名 36,000円 職員通常 53名 26,500円 保護者終身 89名 267,000円 生徒終身 78名 390,000円
寄 附 金	100,000	230,000	130,000	13件
事 業 収 入	300,000	321,500	21,500	農芸祭亮上 入学式椎茸原本販売
雜 収 入	13	4,039	4,026	通常貯金利子6円・平成21年度特別積立金満期による利子4,033円
合 計	1,575,100	1,731,126	156,026	

支出の部

単位(円)

科目	本年度予算額	決算額	比較増減	備 考
事 務 費	50,000	29,197	-20,803	封書・葉書郵送料
会 議 費	15,000	7,772	-7,228	会議用茶菓子・昼食等
涉 外 費	10,000	10,000	0	会長涉外費
旅 費	10,000	10,000	0	役員旅費
事 業 費	750,000	1,124,246	374,246	農芸祭会報発行 研修事業
生徒福祉費	600,000	500,334	-99,666	生徒募集対策費
慶弔費	25,000	13,678	-11,322	弔電 祝電
振込手数料	5,000	940	-4,060	寄附金振込手数料
特別積立金	100,000	0	-100,000	
予 備 費	10,100	0	-10,100	
合 計	1,575,100	1,696,167	121,067	

単位(円)

科目	繰 越 額(a)	本年度積立額(b)	利子(c)	※満期利子(d)	積立金合計 (a)+(b)+(c)+(d)	備 考
特別積立金	1,158,757	0	479	5,059	1,154,177	※平成21年度積立金満期振替により、4,033円(満期利子5,059円-税額1,026円)を一般会計に雑収入として収入

令和2年度
教育後援会
事業計画

令和2年度
会計予算

月	日	事業名	内 容
4	9	第38回入学式	H31事業報告・決算、R2役員・事業計画・予算について
5	9	役員会	H31事業報告・決算、R2役員・事業計画・予算の審議と承認について
6	上旬	【書面決議】生徒募集広報活動支援	広報用ポスター作成・府下中学校配布
		第1回研修事業	【中止】
9	下旬	役員会	【中止】
		四者会議	【中止】
11	上旬	海外農業研修説明会	運営協力
11	21	第37回農芸祭	11・12月分で徴収
		農芸マルシェ	【中止】
11	下旬	終身会費納入依頼	次年度役員案の作成・推挙について
12	23～26	海外農業研修助成	第38号発行
2	27	選考会議	
3	1	第36回卒業式	
		教育後援会報発行	
		第2回研修事業	

※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が変更または中止となりました。

収入の部

単位(円)

科目	本年度予算額(a)	前年度予算額(b)	増減(a)-(b)	備 考
繰 越 金	34,959	339,087	-304,128	前年度繰越額
会 費	783,000	836,000	-53,000	生徒通常 212名 106,000円 職員終身 8名 24,000円 職員通常 50名 25,000円 保護者終身 61名 183,000円 生徒終身 89名 445,000円
寄 附 金	100,000	100,000	0	
事 業 収 入	300,000	300,000	0	農芸祭亮上・椎茸ほだ木販売
雜 収 入	41	13	28	利子
合 計	1,218,000	1,575,100	-357,100	

支出の部

単位(円)

科目	本年度予算額(a)	前年度予算額(b)	増減(a)-(b)	備 考
事 務 費	35,000	50,000	-15,000	封書・葉書郵送料
会 議 費	10,000	15,000	-5,000	会議用茶菓子
涉 外 費	10,000	10,000	0	渉外費
旅 費	10,000	10,000	0	役員旅費
事 業 費	570,000	750,000	-180,000	生徒校外活動補助 (農業クラブ・部活動等) 農芸祭 椎茸ほだ木・菌購入 会報発行 研修事業
生徒福祉費	500,000	600,000	-100,000	生徒募集対策費 (ポスター作成・横断幕製作等)
慶弔費	21,000	25,000	-4,000	香資料弔電祝電
振込手数料	2,000	5,000	-3,000	寄附金振込手数料
特別積立金	50,000	100,000	-50,000	
予 備 費	10,000	10,100	-100	
合 計	1,218,000	1,575,100	-357,100	

令和2年度 特別積立金会計予算

単位(円)

科目	繰越額	本年度積立額	積立合計額	備 考
特別積立金	1,154,177	50,000	1,204,177	

令和2年度 3年生進路決定状況

令和3年1月31日現在

I. 進路状況

学科	就職	進学	未定	合計
農産バイオ科	16	30	3	49
(男子)	13	22	2	37
(女子)	3	8	1	12
環境緑地科	4	8	0	12
(男子)	4	7	0	11
(女子)	0	1	0	1
合計	20	38	3	61

II. 就職内定状況

内定者実数 *下記企業名は順不同

学科	農・建設・造園	製造	運輸・通信	卸・小売	サービス	福祉	公務員他	合計
農産バイオ科	0	11	0	3	0	0	3	17
環境緑地科	1	1	0	2	0	0	0	4
合計	1	12	0	5	0	0	3	21

【農・建設・造園】 寺尾道路株式会社

【製 造】 山崎製パン株式会社《2名》、株式会社湖池屋《2名》、雪印メグミルク株式会社、
ダイハツ工業株式会社、日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社、ロームメカテック株式会社、
ニチコン亀岡株式会社、ユニチカ株式会社宇治事業所、
株式会社ダイゾーエアゾール事業部京都工場、共栄樹脂株式会社

【卸・小 売】 株式会社京都協同管理《2名》、株式会社ヰセキ関西中部、京都食肉市場株式会社、
AiMai合同会社（縁故）

【公務員 他】 京都府職員（農業）、京都府職員（学校事務）、自衛隊

III. 進学合格状況

延べ人数 *下記学校名は順不同

学科	国公立大学	私立大学	短期大学	農業大学校	専修各種学校	合計
農産バイオ科	2	19	0	0	9	30
環境緑地科	1	1	2	0	4	8
合計	3	20	2	0	13	38

【国 立 大 学】 京都教育大学（教育学部）、三重大学（生物資源学部）

【公 立 大 学】 京都府立大学（生命環境学部）

【私 立 大 学】 東京農業大学（農学部）（生物生産学部）（地域環境科学部）、龍谷大学（農学部《2名》）、
酪農学園大学（農食環境学群《5名》）、京都先端科学大学（バイオ環境学部《2名》）、
南九州大学（環境園芸学部《2名》）、明治国際医療大学（保健医療学部《2名》）、花園大学（文学部）、
京都文教大学（臨床心理学部）、京都精華大学（メディア表現学部）、京都芸術大学（芸術学部）

【短 期 大 学】 西日本短期大学《2名》

【専修各種学校】 公立南丹看護専門学校（京都中部総合医療センター看護専門学校）《2名》、京都医健専門学校《2名》、
大和学園京都製菓製パン技術専門学校《2名》、大阪モード学園《2名》、京都日産自動車大学校、
八紘学園北海道農業専門学校、YIC京都ペット総合専門学校、YIC京都ビューティ専門学校、
文化服装学院

求人のお願い

近年、高校生の就職に関しては「売り手市場」の状況が続き、本校の求人状況も順調に推移しています。しかし、農芸で学んだことを活かして働くことのできる企業・事業所ばかりだとは限りません。望ましい求人情報がありましたら、進路指導部まで御提供ください。

農芸高校 TEL : 0771 (65) 0013

ホームページの活用と会報誌の送付について

農芸高校ホームページをリニューアルしました。今後、教育後援会のコーナーに活動内容を掲載します（現在準備中）。逐次更新をしてまいりますので、ご覧ください。なお、会報誌の送付は、卒業後10年までとさせていただいております。御了承いただきますようお願い申し上げます。